

事務事業評価表 平成24年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 子育て環境の充実
 基本事業 学齢期児童への支援

事業名 **東野幌青少年会館管理運営費**

[0162]

部名	健康福祉部	事業開始年度	昭和46年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室子ども家庭課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>東野幌青少年会館</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>地域住民(児童・成人)の交流拠点施設として、安心・安全に利用できる。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>東野幌青少年会館の維持・管理に要する経費。管理人を配置し、使用申請受付や使用時の管理ならびに施設点検・管理を行う</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	施設数	ヶ所	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	開館日数	日	359	359	360	359
活動指標2						
成果指標1	延べ利用人数	人	18,635	18,955	18,641	19,503
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	6,016	6,330	6,453	5,989
正職員人件費 (B)		千円	830	806	803	809
総事業費 (A) + (B)		千円	6,846	7,136	7,256	6,798

費用内訳	
23年度	需用費 1,313千円、役務費 168千円、委託料 4,939千円、使用料及び賃借料 33千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	青少年の生活と文化の振興及び地域の福祉を増進する目的で設置された施設であるが、平成10年度には野幌鉄南住区の児童館として機能が付加され利用されている。
--------	--	-------------	---

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は？

青少年の生活と文化の振興及び地域の福祉を増進する目的で設置された施設であり、30年に渡り地域住民に利用され、平成10年度には野幌鉄南住区の児童館として機能が付加されており、市で管理運営を行うのは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は？

地域の住民の身近な施設及び地域児童館としての機能が付加されたことで貢献している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は？

地域の住民の身近な施設及び地域児童館としての機能が付加されたことにより、児童及び大人との交流も図れることとなり、成果は大きい。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は？

施設機能を安全に維持するために、必要最小限の施設維持管理を行っている。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由・
 根拠は？

指定管理者制度の導入